

2025年度

帝塚山学院大学大学院

入学試験要項

TEZUKAYAMA GAKUIN UNIVERSITY

人間科学研究科

■ 人間科学専攻(修士課程)
【一般入試】

■ 臨床心理学専攻(専門職学位課程)
【一般入試・社会人入試】

【お問い合わせ】 アドミッションセンター

〒590-0113 大阪府堺市南区晴美台4-2-2
TEL.072-290-0652 FAX.072-296-4141 E-mail : soumu-ny@tezukayama.ac.jp
<https://www.tezuka-gu.ac.jp/nyushi/>

人間科学研究科 人間科学専攻 健康科学コース

- ・幅広い視野をもつ判断力と応用力を備え、探究心があること。
- ・人間の健康的な生活を追求し、食物・栄養・運動・心理を、知識と技術を活かして、心とからだの健康づくりについて関心があること。

人間科学研究科 人間科学専攻 情報・認知科学コース

- ・情報メディアについての専門的知識を理解し、情報メディアに関わる問題に関心があること。
- ・心のはたらきを科学的に捉えて、心理学と情報技術との融合に関心があること。

人間科学研究科 臨床心理学専攻

- ①幅広い教養と向上心を常に持ち、厳しい心理臨床の修練を乗り越えていく力があること。
- ②社会人としての良識と対人援助を行う専門家としての倫理意識が高いこと。
- ③人間に対する深い関心と理解力を持ち、安定した思考力と対人関係能力を維持できること。
- ④臨床心理学の実践活動家としての高度専門職業人（臨床心理士・公認心理師）をめざす明確な意欲があること。

目 次

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）	1
人間科学専攻（修士課程）一般入試	2
臨床心理学専攻（専門職学位課程）一般入試	4
臨床心理学専攻（専門職学位課程）社会人入試	6
インターネット出願について	8
受験・試験会場・合格発表について	10
入学手続・学費等	12
授業科目（人間科学専攻）	14
授業科目（臨床心理学専攻）	17

人間科学専攻(修士課程)一般入試

募集人員

研究科名	専攻名	募集人員
人間科学研究科	人間科学専攻	I 期募集 10名 II 期募集 若干名

*この専攻の受験により入学した者は、大学院修了後に臨床心理士資格認定試験及び公認心理師試験の受験資格を取得することはできません。

*2025年度入試は、情報・認知科学コースの募集はいたしません。

出願資格

下記(1)～(8)までのいずれかの要件に該当する者。

(1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した者、または2025年3月卒業見込みの者。

(2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者。

(3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2025年3月までに修了見込みの者。

(4) 外国の大学、その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者。

(5) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。

(6) 文部科学大臣の指定した者。

(7) 大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本大学院が認めた者。

(8) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳(2025年4月1日現在)に達した者。

出願前の事前相談

原則として、事前に、研究計画について研究に関連する本研究科の教員と相談することが必要です。教員の選定については、仮の研究計画書(書式は自由。300～400字)を添付して、出願開始日1ヶ月前までに、アドミッションセンターにメールで問合せください。<問合せ先> アドミッションセンター：soumu-ny@tezukayama.ac.jp

入試日程

【注意事項】 インターネット出願による出願登録は出願締切日の15:00まで、出願必要書類の提出は出願締切日の消印有効。

日 程	出願期間	試験日	試験会場	合格発表日	入学手続締切日
I 期	2024年 8月19日(月)～9月3日(火)	2024年 9月8日(日)	本学	2024年 9月13日(金)	2024年 10月18日(金)
II 期	2025年 1月20日(月)～2月4日(火)	2025年 2月9日(日)	本学	2025年 2月14日(金)	2025年 3月7日(金)

*定員充足状況により、II 期入試を実施しない場合があります。

*II 期入試の実施の有無につきましては、11月上旬ごろに大学院入試のホームページにてお知らせします。

選抜方法

以下に基づき総合的に判定します。

ア. 筆記試験(外国語)

イ. 筆記試験(専門に関する論述試験)

ウ. 面接試験

エ. 研究計画書(作成要領は、出願必要書類の項を参照)

入試科目・時間

時 間	10:00～11:20	11:50～13:10	14:10～(15分程度)
入試科目	外国語 (英語)	専門に関する論述試験	面 接

配点

外国語科目	専門科目	面 接	合 計
100点	100点	20点	220点

*外国語の筆記試験時は、英和辞書の持ち込み・使用を認めます。ただし、電子辞書、専門用語辞典等を除きます。

出願方法 ※詳細は「インターネット出願」(P. 8)をご確認ください。

インターネット出願登録を行い、入学検定料を納めた後、市販の角2封筒に出願必要書類を入れ、簡易書留速達郵便でお送りください。

出願必要書類

*出願必要書類は流用できません。

*各種証明書は、原則、2024年4月以降に発行されたものに限ります。

①Web 志願票(入学検定料支払後、インターネット出願サイトより、ダウンロードして印刷してください。)

●顔写真データについて

・出願前3ヶ月以内に撮影したもので、上半身、脱帽、正面向きのもの。

・背景は無地として、白、青、またはグレーの壁で撮影してください。

・画像データは100KB～3MBまでのjpeg形式で作成してください。

・個人が特定しづらいものは使用できません。

②卒業証明書又は卒業見込証明書(大学卒業以外の資格での志願者は、その資格を確認できる書類)

③成績証明書(出身大学等が作成し、厳封したもの)
(大学卒業以外の資格での志願者は、その成績を確認できる書類)

④研究計画書

下記の1～3の内容を含んだものをA4用紙2枚、2,000字程度にまとめて作成してください。

1. 志望する研究テーマ

2. これまでの学習内容について

3. 関心のある研究領域について

●レポートは以下の要領で作成すること

・用紙右上に氏名を記入の上、必ずページ数を下段右端に付し、用紙左上をホッチキスでとめること。

〈パソコンで作成する場合〉

用紙は縦長A4サイズ用紙に、黒で印字すること。

書式は横書き1行45字以内で作成すること。

〈手書きの場合〉

用紙は市販の400字詰め縦長原稿用紙(A4サイズ)に、黒のペンで横書きとする。

⑤戸籍抄本(改姓・改名者のみ)

証明書に記載されている氏名から改姓・改名した場合は提出してください。

入学検定料

30,000円

インターネット出願登録時に、コンビニエンスストア(現金支払)またはクレジットカード決済が選択できます。

病気・負傷・障がい等がある場合の出願について

P.10をご確認ください。

臨床心理学専攻（専門職学位課程）一般入試

募集人員

研究科名	専攻名	募集人員
人間科学研究科	臨床心理学専攻（専門職学位課程）	I 期募集 20名 II 期募集 若干名

出願資格

下記（１）～（８）までのいずれかの要件に該当する者。

- （１）学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学を卒業した者、または2025年3月卒業見込みの者。
- （２）学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者。
- （３）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2025年3月までに修了見込みの者。
- （４）外国の大学、その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者。
- （５）専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
- （６）文部科学大臣の指定した者。
- （７）大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本大学院が認めた者。
- （８）本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳（2025年4月1日現在）に達した者。

入試日程

【注意事項】 インターネット出願による出願登録は出願締切日の15：00まで、出願必要書類の提出は出願締切日の消印有効。

日 程	出願期間	試験日	試験会場	合格発表日	入学手續締切日
I 期	2024年 8月19日(月)～9月3日(火)	2024年 9月8日(日)	本学	2024年 9月13日(金)	2024年 10月18日(金)
II 期	2025年 1月20日(月)～2月4日(火)	2025年 2月9日(日)	本学	2025年 2月14日(金)	2025年 3月7日(金)

*定員充足状況により、II 期入試を実施しない場合があります。

*II 期入試の実施の有無につきましては、11月上旬ごろに大学院入試のホームページにてお知らせします。

選抜方法

以下に基づき総合的に判定します。

ア．筆記試験（外国語）

イ．筆記試験（臨床心理学に関する専門知識）

ウ．面接試験

エ．事前レポート（作成要領は出願必要書類の項を参照）

「心理臨床実践への自らの課題について」（800～1000字）

*本専攻のカリキュラムを十分に遂行できる基礎学力、能力が認められない場合には、定員内であっても不合格とすることがあります。
また、臨床心理士・公認心理師に必要なコミュニケーション能力も重視されます。

入試科目・時間

時 間	10:00～11:20	11:50～13:10	14:10～（15分程度）
入試科目	外国語 （英語）	臨床心理学に関する専門知識 （一部基礎心理学も含む）	面 接

配点

外国語科目	専門科目	合 計
100点	200点	300点

*外国語科目については、みなし得点制度があります。

*外国語の筆記試験時、本学指定の辞書を貸し出します。

英語における外部試験のみなし得点利用について

英語外部試験の資格・スコアを下記の基準に従い、「外国語（英語）」筆記試験の得点として換算します。「みなし得点」を利用する場合、「外国語（英語）」筆記試験を免除し、「みなし得点」の得点を取得したものとします。「みなし得点」を利用した上で、「外国語（英語）」筆記試験を受験した場合は、得点の高い方を合否判定に使用します。

対象英語資格・検定試験スコア

みなし得点	実用英語技能検定（英検）	英検S－CBT	TOEIC® L&R [IP不可]
90点	1 級	該当なし（実施級がない為）	900～
70点	準1 級	準1 級	730～895
60点	2 級	2 級	550～725

〔条件〕

- ・出願開始日より遡って2年以内に受験していること。
- ・出願時に、合格証やスコアを証明する書類のコピーを出願期間内（出願締切日の消印有効）に必ず提出すること。再出願の場合も、再度提出してください。

出願方法

※詳細は「インターネット出願」（P. 8）をご確認ください。

インターネット出願登録を行い、入学検定料を納めた後、市販の角2封筒に出願必要書類を入れ、簡易書留速達郵便でお送りください。

出願必要書類

*出願必要書類は流用できません。

*各種証明書は、原則、2024年4月以降に発行されたものに限ります。

①Web 志願票（入学検定料支払後、インターネット出願サイトより、ダウンロードして印刷してください。）

●顔写真データについて

- ・出願前3ヶ月以内に撮影したもので、上半身、脱帽、正面向きのもの。
- ・背景は無地として、白、青、またはグレーの壁で撮影してください。
- ・画像データは100KB ～ 3MBまでのjpeg形式で作成してください。
- ・個人が特定しづらいものは使用できません。

②卒業証明書又は卒業見込証明書（大学卒業以外の資格での志願者は、その資格を確認できる書類）

③成績証明書（出身大学等が作成し、厳封したもの）
（大学卒業以外の資格での志願者は、その成績を確認できる書類）

④事前レポート（下記の内容についてご提出ください。）

「心理臨床実践への自らの課題について」（800 ～ 1,000 字）

●レポートは以下の要領で作成すること

- ・用紙右上に氏名を記入の上、必ずページ数を下段右端に付し、用紙左上をホッチキスでとめること。

〈パソコンで作成する場合〉

用紙は縦長A4サイズ用紙に、黒で印字すること。

書式は横書き 1 行 45 字以内で作成すること。

〈手書きの場合〉

用紙は市販の400字詰め縦長原稿用紙（A4サイズ）に、黒のペンで横書きとする。

⑤戸籍抄本（改姓・改名者のみ）

証明書に記載されている氏名から改姓・改名した場合は提出してください。

入学検定料

30,000円

インターネット出願登録時に、コンビニエンスストア（現金支払）またはクレジットカード決済が選択できます。

病気・負傷・障がい等がある方の出願について

P.10をご確認ください。

臨床心理学専攻(専門職学位課程)社会人入試

募集人員

研究科名	専攻名	募集人員
人間科学研究科	臨床心理学専攻(専門職学位課程)	I 期募集 II 期募集 } 若干名

出願資格

下記(1)～(2)までのいずれかの要件に該当する者。※**出願開始日1ヶ月前までにアドミッションセンターまで必ずお問い合わせください。**

- (1) 出願時まで4年制大学卒業後、社会福祉施設、医療機関、教育・研究機関、国および地方公共団体のいずれかにおいて3年以上の心理相談関連の就業経験を有する者。
- (2) 本学大学院において、上記(1)の出願資格に準ずるものとして認めた者。

入試日程

注意事項 インターネット出願による出願登録は出願締切日の15:00まで、出願必要書類の提出は出願締切日の消印有効。

日 程	出願期間	試験日	試験会場	合格発表日	入学手続締切日
I 期	2024年 8月19日(月)～9月3日(火)	2024年 9月8日(日)	本学	2024年 9月13日(金)	2024年 10月18日(金)
II 期	2025年 1月20日(月)～2月4日(火)	2025年 2月9日(日)	本学	2025年 2月14日(金)	2025年 3月7日(金)

*定員充足状況により、II 期入試を実施しない場合があります。

*II 期入試の実施の有無につきましては、11月上旬ごろに大学院入試のホームページにてお知らせします。

選抜方法

以下に基づき総合的に判定します。

ア. 筆記試験(臨床心理学に関する専門知識) *外国語試験は免除されます。

イ. 面接試験

ウ. 事前レポート(作成要領は、出願必要書類の項を参照)

- 1.「これまでの職務内容と相談関連業務の経験について」(1,000字程度)
- 2.「本学専門職大学院志望の動機と将来の目標について」(1,000字程度)

*本専攻のカリキュラムを十分に遂行できる基礎学力、能力が認められない場合には、定員内であっても不合格とすることがあります。
また、臨床心理士・公認心理師に必要なコミュニケーション能力も重視されます。

入試科目・時間

時 間	10:00～11:20(15分程度)	11:50～13:10
入試科目	面 接	臨床心理学に関する専門知識 (一部基礎心理学も含む)

配点

専門科目
200点

出願方法

※詳細は「インターネット出願」(P. 8)をご確認ください。

インターネット出願登録を行い、入学検定料を納めた後、市販の角2封筒に出願必要書類を入れ、簡易書留速達郵便でお送りください。

出願必要書類

*出願必要書類は流用できません。

*各種証明書は、原則、2024年4月以降に発行されたものに限ります。

①Web 志願票(入学検定料支払後、インターネット出願サイトより、ダウンロードして印刷してください。)

●顔写真データについて

- ・出願前3ヶ月以内に撮影したもので、上半身、脱帽、正面向きのもの。
- ・背景は無地として、白、青、またはグレーの壁で撮影してください。
- ・画像データは100KB～3MBまでのjpeg形式で作成してください。
- ・個人が特定しづらいものは使用できません。

②卒業証明書又は卒業見込証明書(大学卒業以外の資格での志願者は、その資格を確認できる書類)

③成績証明書(出身大学等が作成し、厳封したもの)
(大学卒業以外の資格での志願者は、その成績を確認できる書類)

④在職証明書(期間ごとに職種が記載されているものが望ましい)

⑤事前レポート(1、2の内容についてご提出ください。)

- 1.「これまでの職務内容と相談関連業務の経験について」(1,000字程度)
- 2.「本学専門職大学院志望の動機と将来の目標について」(1,000字程度)

●レポートは以下の要領で作成すること

- ・用紙右上に氏名を記入の上、必ずページ数を下段右端に付し、用紙左上をホッチキスでとめること。

〈パソコンで作成する場合〉

用紙は縦長A4サイズ用紙に、黒で印字すること。

書式は横書き1行45字以内で作成すること。

〈手書きの場合〉

用紙は市販の400字詰め縦長原稿用紙(A4サイズ)に、黒のペンで横書きとする。

⑥戸籍抄本(改姓・改名者のみ)

証明書に記載されている氏名から改姓・改名した場合は提出してください。

入学検定料

30,000円

インターネット出願登録時に、コンビニエンスストア(現金支払)またはクレジットカード決済が選択できます。

病気・負傷・障がい等がある場合の出願について

P.10をご確認ください。

インターネット出願について



出願期間中は大学窓口でパソコンを使つての出願登録も可能です。

【受付時間】10:00～16:00

※土・日・祝および夏期・冬期休暇中は除きます。※事前連絡のうえお越しください。

インターネット環境

出力する書類がありますので、プリンターをご用意ください。

PCブラウザ	【Windows】Microsoft Edge(最新バージョン) Google Chrome(最新バージョン) Firefox(最新バージョン) 【Mac OS】Safari(最新バージョン)	※セキュリティソフトをインストールしている場合、インターネット出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。セキュリティソフトに関する設定方法については、セキュリティソフトのマニュアルを確認するか、各セキュリティソフトメーカーのサポートセンターに問い合わせてください。
スマートフォン・タブレット	【Android】Android 12.0以上:Android Chrome(最新バージョン) 【iOS】iOS 15.0以上:Safari(最新バージョン)	
PDF推奨環境	アドビシステムズ社のAdobe Reader(無償)が必要です。 既にAdobe Readerをお持ちの方もバージョンを確認し、最新版にアップデートされることを推奨します。	

■メールアドレスについて ユーザー登録の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール(Gmail やYahoo! メールなど)や携帯電話のアドレスで構いませんが、携帯メールの場合はドメイン(@tezuka-gu.ac.jp, @tezukayama.ac.jp, @postanet.jp)を受信指定してください。出願登録完了時・入学検定料支払い完了時に、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。

■ブラウザについて どのウェブブラウザでも、右記の設定を行ってください。 ・JavaScriptを有効にする。 ・Cookieを有効にする。

インターネット出願の流れ

STEP1～7を、すべて出願期間内に行うことによって、出願が完了したことになります。

出願登録だけでは出願になりません。

STEP 1

出願必要書類の準備

出願必要書類には発行までに時間がかかるものもありますので、早めにご準備ください。

成績証明書

卒業(見込)証明書

顔写真データ

etc.

出願必要書類は入試区分ごとに異なります。

STEP 2

アカウント作成 (初回のみ)

- 帝塚山学院大学 受験生向けサイトにアクセス。
- 「インターネット出願」をクリックしてPost@netを開きます。
- Post@netのログイン画面より「新規登録」ボタンをクリック。
- 利用規約に同意した後、メールアドレス・パスワードなど必要項目を入力して「登録」ボタンをクリック。
- 入力したメールアドレス宛に、仮登録メールが届きます。
- 仮登録メールの受信から60分以内にメール本文のリンクをクリックして登録を完了させてください。

帝塚山学院大学ホームページ

帝塚山学院大学

検索



STEP 3

ログイン

- メールアドレス・パスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックすると、登録したメールアドレスに認証コードが届きますので、入力しログインしてください。
- 「学校一覧」から「帝塚山学院大学」を検索し、お気に入り学校の登録をしてください。

STEP 4

出願登録

「出願登録」ボタンをクリック後、画面の指示に従って登録してください。

留意事項の確認	入試区分の選択	試験日・志望専攻の選択	出願内容の確認	志願者情報の入力	志願者情報の確認
---------	---------	-------------	---------	----------	----------

- 氏名や住所の漢字が入力できない、もしくはエラーになる場合は、代替え漢字(なければカナ)を入力してください。
印刷したWeb志願票に朱書きで正しい漢字を記入してください。
- 出願した内容および、お支払い方法の画面を印刷しておくことをおすすめします。
- 支払方法選択後、入学検定料のお支払いに必要な番号が表示されます。
必ず番号をメモしてください。

※スマートフォン・タブレットで出願登録をした方は、スクリーンショット等で登録画面を保存しておくことをおすすめします。

注 意

- 入学検定料のお支払い完了後の変更は一切できません。
- 入学検定料のお支払い前に誤りに気づいた場合は、入学検定料を納入せずに新たに登録を行ってください。
※支払期限までに入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報は自動的に無効となります。

STEP 5

入学検定料を支払う

LAWSON

MINI STOP

FamilyMart

7

Daily

Seicomart

VISA

JCB

AMERICAN EXPRESS

コンビニエンスストア(現金支払)またはクレジットカード決済が選択できます。お支払い方法の詳細については、インターネット出願画面の「入学検定料の支払方法について」を参照してください。入学検定料の他に手数料が必要です。一度、お支払いされた入学検定料は返金できません。

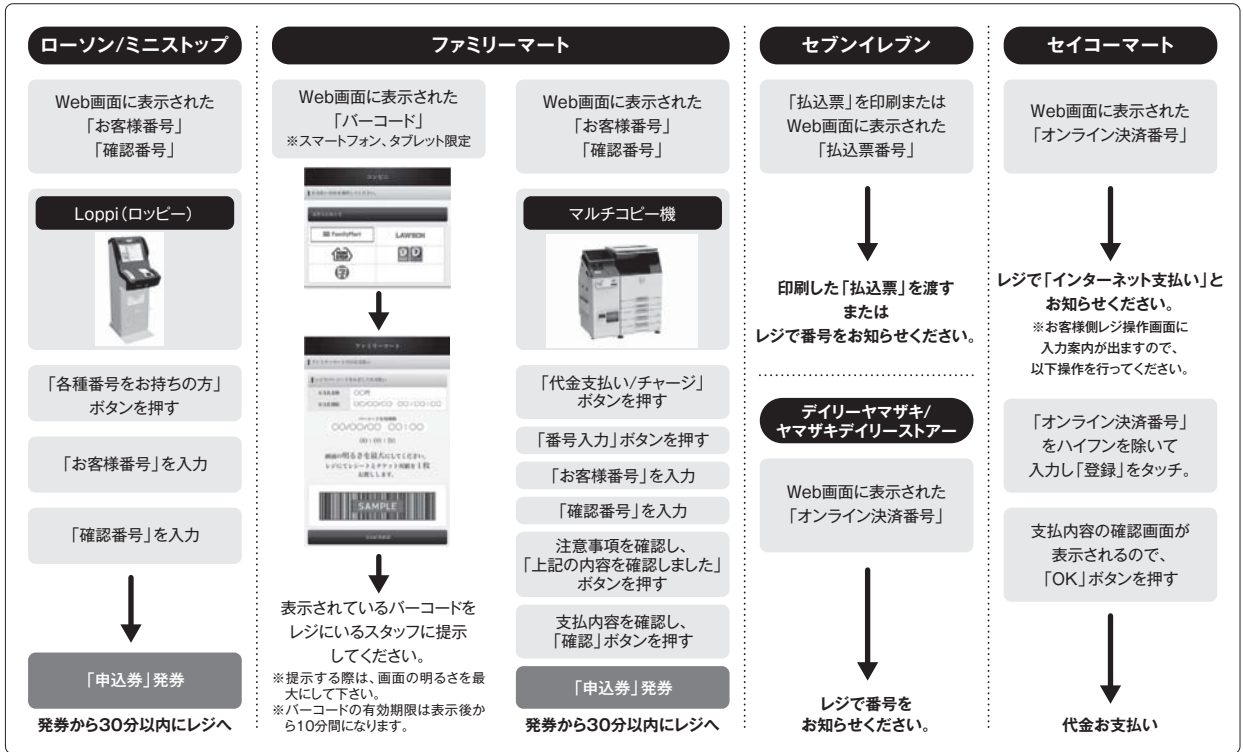
注 意

出願登録した翌日の23:59まで(出願締切日に出願登録した場合は当日の23:59まで)に入学検定料をお支払いください。
支払い期限を過ぎると、登録された内容での入学検定料支払いができなくなります。また、入力された情報は自動的に無効となります。

①コンビニ店頭端末の操作

※下記操作手順は一部省略されています。実際の画面の案内に従って操作してください。

※下記操作手順が変更となる場合があります。操作方法については、Post@netにログインし、「はじめに」ページにてご確認ください。



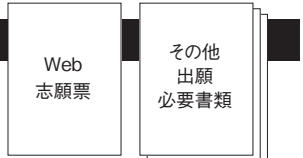
②お支払い レジでお支払いください。(領収書等は個人控えですので、大切に保管してください[提出不要]).

- ▶ 入学検定料の他に、手数料が必要です。
- ▶ お支払い金額が5万円以上の場合、別途事務手数料が必要です。
- ▶ 一度お支払いされた入学検定料は、返金できません。
- ▶ 支払期限までに入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報は自動的に無効となります。

STEP 6

Web志願票・封筒貼付用宛名シートを印刷

Post@netへログインし「出願内容一覧」より帝塚山学院大学の「出願内容を確認」を選択し「Web志願票ダウンロード」、「封筒貼付用宛名シートダウンロード」をクリックして、PDFファイルをダウンロードします。PDFファイルはページの拡大・縮小はせずにA4で印刷してください。※写真承認を待つ必要はありません



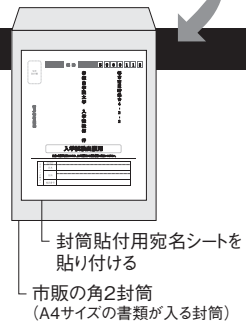
STEP 7

出願必要書類の郵送(出願締切日消印有効)

印刷したWeb志願票などの出願必要書類を同封して、市販の角2封筒(A4サイズの書類が入る封筒)に入れ、簡易書留速達で郵便局窓口から郵送してください。

封筒貼付用宛名シートの出力ができない場合は、右記の宛先にお送りください。 郵便番号・住所・氏名を記入して出願必要書類を右記の送付先に簡易書留・速達で郵送してください。	〒590-0113 大阪府堺市南区晴美台4-2-2 帝塚山学院大学 入学試験係 入試出願書類在中
--	---

※書類の郵送が間に合わない場合は、持参してください。(要事前連絡) (受付時間)10:00～16:00(※土・日・祝および夏期・冬期休暇中は除きます。)



STEP 8

受験票を印刷

試験日の2日前までに受験票ダウンロードの案内メールをお送りしますので、ダウンロード・印刷してください。受験票の郵送はしません。出願必要書類の提出がない方の受験票は無効となります。Post@netへログインし「出願内容一覧」より帝塚山学院大学の「出願内容を確認」を選択し「受験票ダウンロード」をクリックして、ダウンロードします。PDFファイルをページの拡大・縮小はせずにA4で印刷してください。試験当日に必ず受験票を持参してください。

【注 意】 受験票のダウンロードが試験日の2日前になってもできない場合はご連絡ください。

受験・試験会場・合格発表について

■入学試験に関する注意

- ①受験票に記載の「試験に関する注意」を必ずご確認ください。
- ②入学試験当日、受験票は必ず持参し、試験中は試験監督の指示に従って提示してください。忘れたり、紛失した場合等は直ちに入試係員まで申し出たうえ、再発行手続を行ってください。
- ③入学試験当日は学内の掲示をよく見て試験会場等を確認のうえ、間違いのないようにしてください。
- ④試験開始15分前までに指定された席に着席してください。
- ⑤試験開始後は原則として退出できません。
- ⑥遅刻した場合は入試係員の指示に従ってください。ただし試験開始後30分以上遅刻した場合は原則として受験できません。
- ⑦筆記用具は必ず鉛筆を使用してください。（ボールペンやインク使用の筆記用具は使用できません。）
- ⑧時計は、時計機能だけの腕時計のみ認めます。（辞書機能、通信機能付、スマートウォッチ等は不可）
※アラーム機能は必ず止めておいてください。
- ⑨携帯電話・スマートフォンは試験中、机に出すことはできません。アラーム設定を解除し、電源を切って鞆等に収納したうえで受験してください。（時計の代わりに使用することも禁止です。）

■受験票について

試験日2日前までに、受験票ダウンロードの案内メールをお送りしますので、ダウンロード・印刷してください。受験票の郵送はしません。試験当日に必ず受験票を持参してください。
※受験票のダウンロードが試験日の2日前になってもできない場合はご連絡ください。

■病気・負傷・障がい等がある方の出願について

病気・負傷・障がい等があり、受験および修学に際して配慮を必要とする場合は、なるべく試験日の2か月前までにご相談ください。試験形態や希望する配慮内容によっては、希望どおりの配慮とならない場合もございます。また、希望する配慮事項や施設・設備の確認のため、本学にお越しいただく場合もあります。

■試験会場

帝塚山学院大学大学院

〒590-0113 大阪府堺市南区晴美台4-2-2 TEL 072-290-0652

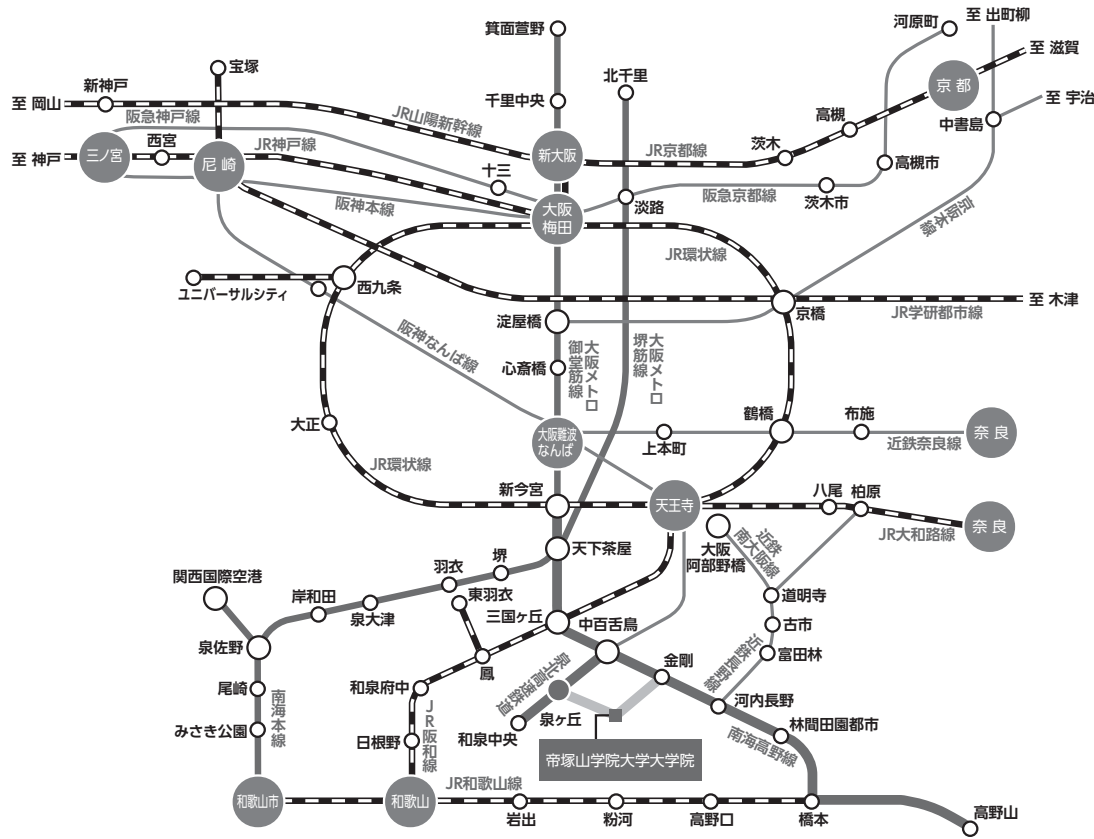
泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅南側ターミナルから

- ④・⑥番のりば（217・222系統）で約8分「はるみ小学校前（帝塚山学院大学前）」下車すぐ

南海高野線「金剛」駅西側ロータリーから*

- ⑤番のりば（222系統）で 約10分「はるみ小学校前（帝塚山学院大学前）」下車すぐ
 - ④番のりば（250系統）で 約23分「桃山学院教育大学前」下車、約700m
- ※「金剛」駅からのバスは本数が非常に少ないのでご注意ください。

■路線図



■受験のための宿泊について

本学では宿泊施設の紹介・斡旋は原則おこなっていません。近くの旅行会社などをご利用のうえ、大阪市内の「難波」駅周辺・南海高野線「堺東」駅周辺または泉北高速鉄道「泉ヶ丘」駅周辺で選びになると便利です。

■合格発表について

合格発表日当日の午後1時に大学ホームページより合否を確認することができます。

合格発表日以降に合格通知書等を順次発送します。不合格者には郵送での通知はありません。

※ 合格の方には合格通知書と一緒に入学手続要項を発送しますので、所定の期日までに入学手続時納付金を振込み、書類を提出して手続を完了してください。
5日経っても届かない場合は、お問い合わせください。
※ 入学試験を欠席した場合や受験科目不足の場合、インターネットで該当の受験番号での合否照会を行うことはできません。

●合否の確認方法

以下のURLまたは2次元コードから本学ホームページにアクセスし、「合否結果」のバナーをクリックしてください。

受験番号と誕生月日（4桁）を入力してください。

<https://www.tezuka-gu.ac.jp/nyushi/>



合否速報サービス利用上の注意

- ・当サービスの「誤操作」「見間違え」等を理由とした、入学手続の遅れは認められません。
- ・サービス開始直後はアクセスが多く、つながりにくい場合があります。その場合はしばらく経ってから再度操作をしてください。
- ・機材の性能や接続方法、ブラウザ設定などにより表示に時間がかかったり、文字化けが発生する場合があります。
- ・試験会場の外で合否発表に関する案内を本学教職員が行うことはありません。類似のサービスにはご注意ください。
- ・利用期間は各試験区分ごとに定めてあり、合格発表当日13:00～7日後の24:00までです。

※期間外は見ることができません。

入学手続・学費等

入学手続

入学手続の詳細は合格通知に同封します。
必ず期限内に手続を完了してください。期限までに手続を完了しないと入学資格を失います。
(入学手続完了者には、入学手続締切日以降に「入学手続完了通知」をお送りいたします。)

※入学手続後、やむを得ず入学を辞退される場合は、2025年3月27日(木) 17：00までにお申し出ください。
なお、入学手続後、入学を辞退される場合は、できる限り早く本学にご連絡ください。

学費その他納付金(2024年度実施)

【臨床心理学専攻】

	入学手続時 納付金	春学期納付金 (納付時期:5月末)	秋学期納付金 (納付時期:11月末)	初年度年間 納付金
入 学 金	200,000			200,000
授 業 料		380,000	380,000	760,000
教育充実費		90,000	90,000	180,000
実験実習費		80,000	80,000	160,000
総 額	200,000	550,000	550,000	1,300,000

◆入学後に納付いただくもの
・帝塚山学院大学 同窓会への同窓会終身会費…30,000円
※学費その他の費用については、経済事情の変動に応じて変更する場合があります。
※本学臨床心理学専攻(専門職学位課程)は、専門実践教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座となりました。

【人間科学専攻】

	入学手続時 納付金	春学期納付金 (納付時期:5月末)	秋学期納付金 (納付時期:11月末)	初年度年間 納付金
入 学 金	200,000			200,000
授 業 料		280,000	280,000	560,000
教育充実費		60,000	60,000	120,000
実験実習費		20,000	20,000	40,000
総 額	200,000	360,000	360,000	920,000

◆入学後に納付いただくもの
・帝塚山学院大学 同窓会への同窓会終身会費…30,000円
※学費その他の費用については、経済事情の変動に応じて変更する場合があります。

長期履修生制度

本学では、職業等に従事しながら大学院で学ぶことを希望する社会人の方々の学習機会を拡大するため「長期履修生制度」を設けています。この制度は、職業を有している等の事情で、1年間で履修可能な単位数や研究指導を受ける時間が制限され、通常の修業年限(2年間)で修了することが困難な方のための制度です。本人の申請に基づいて審査し、標準履修年限を超えての長期履修をあらかじめ認めることで、学生は計画的に課程を修了することが可能となり、各自の事情に合わせたペースで学位の取得を目指すことが可能になります。

奨学金およびスカラシップ制度

- (1) 日本学生支援機構(貸与)
- (2) 小野奨学会奨学金(給付)
- (3) 帝塚山学院大学奨学金(給付)・・・本学の学生のみを対象とした大学大学院独自の奨学金制度です。就学の熱意があり、学業成績が良好な学生に対し給付します。
- (4) ドミトリススカラシップ制度・・・大阪府以外の遠隔地から本学指定宿舎に居住する学生に年額10万円を援助する制度です。
- (5) TA(ティーチング・アシスタント)制度・・・本学学部の教育・研究に関連する補助的業務に参加した大学院生に報酬等を支給し、支援する方策を積極的に取り入れています。

[臨床心理学専攻]

- (6) 特待生制度・・・臨床心理士、公認心理師の資格取得を目指していること。入試当日の成績などその他条件を満たしている方に、授業料のうち、初年度のみ半額相当分を免除します。
- (7) 学外スーパーヴィジョンプログラム制度・・・学外の専門家から指導を受ける際に支払う指導料を一定額まで補助する制度です。

臨床心理学専攻の資格取得

臨床心理士受験資格

公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会の「臨床心理士資格審査規程」に「学校教育法に基づく大学院において、臨床心理学又はそれに準ずる心理臨床に関する分野を専攻する専門職学位課程を修了した者」と規定されており、本学大学院人間科学研究科臨床心理学専攻(専門職学位課程)は、「臨床心理士」資格試験の資格審査を受けることができる課程です。したがって、本専攻修了者は、臨床心理士資格認定試験の受験資格が取得できます。

国家資格 公認心理師試験受験資格

公認心理師は、心理援助に関わる国家資格です。公認心理師資格を取得するためには、一般財団法人日本心理研修センターが実施するマーク試験方式による公認心理師試験に合格する必要があります。履修規定に定められた科目を修得した本専攻修了者は、公認心理師試験受験資格が取得できます。(大学院入学前に4年制大学において法令で定める科目を修得している必要があります。)

授業科目（人間科学専攻）

人間科学専攻（修士課程）健康科学コース／情報・認知科学コース

	授業科目名	配当年次	講義等の内容
基礎科目	人間科学概論B	1	現代日本と国際社会の置かれた状況について、特に食を取り巻く問題との関連を視野に入れながら、生活の質を高めつつ地球環境に負荷をかけない生き方を考えていく。
	人間科学概論C	1	本講義では、人間科学に関わる学際的な知識体系を解説する。その上で、人間科学の研究手法やこれまでの知見の活用方法、特に脳科学や心理科学の領域について重点的に学ぶ。人間の歴史や文化的な視点も踏まえて、人間に関する科学的な知見について広く深く学ぶことで、人間の本質的な行動原理を理解できるようになる。
専門科目（健康科学領域）	健康運動学特論	1・2	健康科学の分野で活躍できる実践的応用力を身につけたリーダーとなるために、健康の意義、運動の重要性について理解できるような講義にする。また運動と栄養の関係についても学び、健康的な栄養管理ができるような講義を行う。さらに口頭発表や学術論文の読み方、書き方について解説する。さらに、講義を通して、自分自身の弱点を把握し、克服しながらより高い専門知識を身につける。
	栄養生化学特論	1・2	栄養学とは、人は何をどれくらい食べれば健康でいられるのかを研究する学問であり、生化学は生物の仕組みを化学的に解明する学問である。すなわち、栄養生化学は、人は何をどれくらい食べれば健康でいられるのかを化学的に解き明かす学問である。本授業では、実際にどのような研究によって栄養生化学的仕組みが明らかにされていくのかを研究論文を通じて学習し、栄養生化学についての実践的な知識、考え方を身につける。
	公衆栄養学特論	1・2	日本人の食事摂取基準2015年版は、栄養のガイドラインである。食事摂取基準に記載されている栄養の指標を理解するとともに、食事摂取基準作成の背景にある科学的根拠に基づく栄養学(EBN：evidence-based nutrition)、栄養疫学の考え方を習得する。
	食品科学特論	1・2	健康科学の分野で活躍できる実践的応用力を身につけたリーダーとなるために、糖質、脂質、たんぱく質、ミネラル、ビタミンの食品学的意義、および糖質、脂質、たんぱく質、エネルギーの代謝について理解できるような講義にする。また食品素材の栄養成分特性、機能性、運動と栄養の関係、栄養摂取のアンバランスによって生じる弊害などについても学び、基礎的な栄養管理ができるような講義を行う。さらに口頭発表や学術論文の読み方、書き方について解説する。さらに、講義を通して、自分自身の弱点を把握し、克服しながらより高い専門知識を身につける。
	応用栄養学特論	1・2	栄養と食べ物、健康、食生活とのかかわりについて調べ、食生活を豊かにするためのスキルや工夫の方法を理解し、応用できる知識を身につける。日本人の食事摂取基準(2020年版)やライフサイクルアセスメントの考え方を身につける。
	食品保健・機能学特論	1・2	食品の衛生管理について、特に微生物による汚染・変質・食中毒の予防を中心に知識を授け、最新情報を収集し論議する。また、昨今では腸内フローラや機能性食品因子が健康に及ぼす影響について知見の進展が著しい。微生物や機能性食品因子の有効利用による健康増進の可能性について論じる。
	臨床栄養学特論	1・2	様々な疾病の原因、症状、臨床検査所見、診断と治療について概説する。そして、個々の疾病の成因、進展、治療と栄養学との関わりに関して理解を深め、適切な栄養管理(栄養マネジメント)を行うことが出来る能力を身につける。さらには、糖尿病、高血圧症、脂質異常症といった生活習慣病をはじめとする各種疾病の病態検査法、食事療法、運動療法、薬物療法について学び、検討する。
	給食経営管理学特論	1・2	給食経営管理について学術的に知識が深められるよう、実務を取り入れたマネジメントやマーケティング能力について学ぶ。給食経営管理で生じる課題事例を取り上げ、問題解決能力、指導能力を習得する。
	食生活経済学特論	1・2	家計消費に占める食料消費の低下が指摘されて久しい。こうした現象は、生活全体における食料消費の地位の低下のように言われる場合が多いが、果たしてそうなのか。食生活経済学特論では、家族共同の食料消費と家族個々人の食料消費の2つの場面から食料消費を捉えることによって、食料消費に関する通説について議論すると共に、生活様式が大きく変動している現況下の食料消費の動向について検討する。
	栄養教育特論	1・2	行動変容を支援する栄養教育プログラム立案、実施、評価、フィードバック、ならびにわが国および諸外国の栄養教育政策・国際的動向に関連する分野の書籍、文献の発表、討論を通じて、栄養教育推進に必要なアプローチ方法・考え方を学ぶ。
	病態医学特論	1・2	幅広い領域の疾患個々における病態・検査・治療法について、その歴史的変遷を踏まえて最近の治療法について解説する。

人間科学専攻（修士課程）健康科学コース／情報・認知科学コース

	授業科目名	配当年次	講義等の内容
専門科目（情報・認知科学領域）	メディア社会特論	1・2	この授業では、現代の情報・メディア、ならびにソーシャルメディアについて、従来のメディアとの違いを明確にする形で学ぶと同時に、社会現象として、特に、ネットいじめ、ネット依存、個人情報の流出、著作権の侵害の4つのテーマを情報化の課題として取り上げる。
	情報セキュリティ特論	1・2	情報セキュリティがなぜ必要なのか、その必要性を理解し、その基礎から最近話題のソーシャルアタック、サイバー犯罪、さらに個人情報やプライバシーについて具体例をふまえて説明できるようになることを目指す。
	情報セキュリティ心理学	1・2	情報セキュリティの問題を技術的・システム的問題から捉えるのではなく、組織の中の人間行動という側面から捉え、組織の不正行動や社会的逸脱行為の一環として、情報セキュリティを理解する。
	大脳生理学	1・2	脳のどのような働きが心の基盤となる情報処理を可能にしているのかについての基本的事項について解説する。神経科学で用いられている様々な研究方法や研究史および、脳と神経系の生理学的構造の基礎を解説する。
	脳科学概論	1・2	脳の生理学の基礎や脳に関する古典的研究や近年の研究動向を学習することを通じて、こころの現象の生物学的側面を理解する。具体的な研究成果や心理学で取り上げられている素材を基に、脳とさまざまな心理的現象の接点に迫る。
	認知発達科学	1・2	発達の基礎的事項を理解し、認知・思考の発達の基礎的事項を理解する。ヒトの発達の理解特に、認知・思考の発達に焦点化する。
	認知心理学特論	1・2	本講義では、認知心理学および認知科学に関する学問体系を解説する。その上で、認知心理学や認知科学の研究手法やこれまでの知見の活用方法、特に日常生活における実践的な活用方法について重点的に学ぶ。認知心理学および認知科学の最新動向を踏まえて、日常生活における人間の行動原理を理解できるようになる。
	人格心理学特論	1・2	パーソナリティあるいは行動の理解・アセスメント、さらに心理療法をはじめとする心理援助的介入に関わる現象理解のあり方、考え方を学んでもらうことを目的としている。①行動理解のパラダイム、②心理学、精神病理学におけるシステム論パラダイム、③関係モデルと心理的援助の3つのサブテーマについて説明する。
	産業心理学特論	1・2	産業場面に関わる心理学の活用について実践的に解説する。特に心理学で得られた知見や手法が産業場面でどのように役立てられているかに重点を置く。
	生涯発達学特論	1・2	ライフ・サイクル論的な展望のもとに、乳児期から老年期にいたるまでのそれぞれの時期に特徴的な心理的課題と臨床的問題について検討する。認知発達については定型発達だけでなく、発達障害を中心とした近年の研究を取り上げる。
	教育心理学特論	1・2	発達の特質を生態学的観点から理解するとともに、学習過程に関して、オペラント行動や強化、学習の基礎理論、記憶過程の特質、学習の自己制御の幾つかの側面について説明する。
	発達障害特論	1・2	自閉症スペクトラム障害・注意欠陥多動性障害・学習障害などの各論について学び、医療／教育／福祉の各領域での実習経験を基にディスカッションを行う。
	社会心理学特論	1・2	社会心理学は、自己や態度といった個人の内的な過程、友人関係や恋愛関係といった対人関係、さらには会社組織などの集団、大衆という社会を幅広く研究の対象としている。本講義では、個人・対人関係・集団[組織・社会]というさまざまな単位を取り上げ、幅広く社会に生きる人間の置く同心理を考える。自分とは何か、相手に自分の気持ちなどをどのように伝えることができるか、集団のなかで自分をどのように表現できるか、流行とは何か、文化を理解するにはどのような方法があるかといったテーマを取り上げながら、最新の研究から人間の社会的行動を理解してゆく。
	心理統計法特論	1・2	統計手法の紹介と解説を講義し、統計解析ソフトウェア(SPSS)を使用したデータ解析を演習する。
	神経心理学特論	1・2	健常な認知発達の諸相について解説し、その後、学習障害(LD)や注意欠陥／多動性障害(ADHD)などの障害児の行動特性について講義する。それらの障害に対する神経心理学的検査法やソフトサイン検査法を紹介する。

	授業科目名	配当年次	講義等の内容
演習・指導科目	応用栄養学演習	1・2	演習形式で行う。食行動や食生態学、食習慣などについて情報を収集し、食生活の問題点を統計的手法により見いだす。そしてどのように解決するか。ポスターの作成や、指導法を考案する。
	公衆栄養学演習	1・2	食べ物と健康の関係は大変密着しているが、科学的な根拠が必ずしも十分とはいえない問題も多い。健康にとって至適な血中コレステロール値一つとっても変遷し議論が続いている。食塩と高血圧の問題、肥満解消にエネルギー制限が糖質制限かなど未解決の課題が多い。論文、データを読みとく力をつける。
	食品保健・食品科学演習	1・2	研究が足踏みした際に困難を突破する力を養成するために、指導教員がこれまでに発表した研究の中で直面した課題を提示し、解決策を考案させる。
	臨床栄養学演習	1・2	NSTを中心とする臨床栄養管理は低栄養や高度侵襲下における患者の治療効果の向上に多大な貢献をしている。このNSTで活動できる臨床管理栄養士を育成することを目指し演習を進める。
	認知科学演習	1・2	本講義では、認知科学領域に関する学問体系を解説する。その上で、認知科学の研究手法やこれまでの知見の活用方法、特に日常生活における実践的な活用方法と研究手法について重点的に学ぶ。認知科学領域の最新動向を踏まえて、日常生活における人間の行動原理を実践的に理解できるようになる。
	発達科学実践演習	1・2	発達科学分野の最新の知見と研究について理解し、自らの研究テーマなど、研究計画を検討する。
栄養に係る教育に関する科目	研究指導	1・2	本指導では、指導教員と相談の上、大量調理施設における衛生管理に応用できる微生物学・食品衛生学に関わる修士論文のテーマを決める。 研究テーマについては文献調査に基づいて研究計画を策定する。研究計画に基づいて実験や調査等を行い、得られたデータを分析した上で自身の考察を含めて発表し、修士論文として研究成果をまとめる。
	学校栄養教育特論	1・2	児童生徒が食生活の自己管理能力を高めることを目標として、自らの食生活を振り返り、課題解決ができるようにする学校健康教育の一環として位置づける包括的な栄養教育の方法論を学ぶ。
	学校栄養食事指導論	1・2	子どもの捉え方と対応、栄養・食事指導における行動科学の理論などを踏まえた上で、学校教育課程の各指導場面における集団ならびに個別の栄養指導を行う方法と評価方法を学ぶ。
	学校栄養食事指導演習	1・2	学校現場における児童生徒に対する栄養・食事指導の実践事例研究を踏まえた上で、様々な場面の栄養・食事指導を計画し、ロールプレイ等の模擬体験を通して、よりよい指導方法を学ぶ。

授業科目（臨床心理学専攻）

臨床心理学専攻（専門職学位課程）

	授業科目名	配当年次	講義等の内容
臨床心理学基幹科目	臨床心理学原論演習Ⅰ	1	心理臨床・心理的援助の基礎的素養を身につけるために必要な、理論・知識・態度を習得する。臨床心理学成立の歴史的背景、臨床心理学の独自性、心理面接における面接構造論、病態水準論、事例研究の意義と問題点、心理療法の諸理論・諸技法など。
	臨床心理学原論演習Ⅱ	2	初めに、専門職として通用する自己研鑽の態度について振り返り、本授業でもその方向性で進行することを確認する。次に、あらゆる対人援助職に必要なメンタライゼーションについて理論的に把握し、理論を実践に生かす視点を獲得する。第3に、発達の観点を臨床実践に生かすための糸口について概説し、各々が今後理論的に学びを深める入口を作る援助をする。特に、近年の精神分析の動向や早期発達の重要性について説明する。認知、情動、神経科学等、異なった視点を相互につなげる試みを行う。そして、対人援助職について、専門職に就きたいと考えた動機や、実践場面で自身の心身の健康をどう維持するかについて検討する。そこでは、「傷ついた癒し手」の概念を入口とする。そして最後に、心理臨床専門職としてのアイデンティティの確立、心理アセスメント、心理療法のルールやプロセス、様々な援助施設における心理臨床の実際など、心理専門職が学んでおくべき基本事項を確認する。
	臨床心理査定学演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	1	春学期は心理査定技法のなかでも質問紙法、描画法、言語連想検査、およびロールシャハ・テストを重点的に取り上げ、その理論と実践について学ぶ。心理査定技法を「用いる」ことのみならず、「読み取る」こと、「伝える」ことなどについても多面的かつ体験的に学んでゆく。心理査定について学ぶことを通して、心理臨床全般に関する理解を深める。
	臨床心理査定学演習Ⅱ	1	院生自らがテストバッテリーを組んで施行した心理査定をもとに記録を作成し、査定事例を報告し、授業内にディスカッションを行う。そして、心理査定結果から人物像や心理的課題を汲み取り解釈を検討し、総合的所見をまとめあげていくまでのプロセスを実践的に学ぶ。
	臨床心理査定学実習Ⅰ（心理実践実習）	1	心理的査定についての基本事項を確認した上で、学内で各検査実習を行う。さらに所見作成について検討する。
	臨床心理査定学実習Ⅱ（心理実践実習）	2	各実習機関の特性に応じたテストバッテリーに基づいた心理査定を実習する。さらに、実習機関に応じた所見作成の仕方、検査所見のフィードバックについて個別指導を行いディスカッションを重ねる。
	臨床心理面接学演習Ⅰ	1	臨床心理面接を行う上での基本的態度を身につけるために、臨床心理面接場面・プレイセラピー場面の実際をロールプレイを通して体験的に学ぶ。初回面接のロールプレイを二人一組でクライアント役とセラピスト役となり、最初の出会いから今後の面接の約束に至るまでの全過程を行う。また、子どもに対する遊戯療法の体験実習を、プレイルームで実施する。
	臨床心理面接学演習Ⅱ	1	本授業では、初回面接のロールプレイを実際の臨床場面と同時間（50分間）行う。討論では、来談者の立場、面接者の立場からの振り返りや気づきとともに、ロールプレイを見守っていた他の参加者による感想・意見の共有を通して、初回面接のあり方や個別事例を理解する観点などが全員が検討される。こうしたディスカッションの積み重ねは、臨床心理面接を行う上での基本的態度の養成に直結するものである。
	臨床心理面接学実習Ⅰ	1	本学の心理教育相談センターにおける基本的な実習活動を行う。 前半では、心理教育相談センターにおいて、相談申込みされた事例を実際に担当するために必要な事前実習および具体的な準備を行う。 後半では、インテーク面接に陪席しインテーク報告を作成する。また、実際の臨床事例の担当を開始し心理面接や心理査定を行う。臨床実践における事前準備および事後の振り返り、各セッションにおける見立て・心理支援体制・方針の検討を行う。スーパーヴィジョン、ケースの引継ぎについて基本姿勢を学び理解を深める。
	臨床心理面接学実習Ⅱ（心理実践実習）	2	大学附属心理教育相談センターにおいて臨床心理実践を行う。臨床事例を担当し、附属相談センターの組織、運営、安全管理、面接の基本的な進め方、記録の作成や保管の仕方、ケース報告書のまとめ方や発表の仕方、面接室および備品の管理、トラブルへの対処法等、実際に業務を担当する上で必要とされる知識、態度、考え方などについて体験的に学ぶ。
	臨床心理地域援助学演習Ⅰ	1	医療／保健、教育、福祉、司法・産業各分野における心理支援の実際について、臨床例（学外実習事例や教員自験例）を示しながらグループ討議を重ねる。さらに、全体討議を通じて各自の考察を深める。
	臨床心理地域援助学演習Ⅱ	1	臨床心理地域援助学演習Ⅰの内容をさらに深める。医療／保健、教育、福祉、司法・産業各分野における心理支援の実際について、臨床例（学外実習事例や教員自験例）を示しながらグループ討議を重ねる。さらに、全体討議を通じて各自の考察を深める。

臨床心理学専攻（専門職学位課程）

	授業科目名	配当年次	講義等の内容
臨床心理学展開科目	臨床心理地域援助学実習Ⅰ（心理実践実習）	1	教育分野の各機関ごとの特徴を学ぶと共に、小学校でのケース担当実習と、教育センターでの見学実習と共に教員による事前事後指導を行う。
	臨床心理地域援助学実習Ⅱ（心理実践実習）	1	保健／医療分野、福祉、司法、産業（就労支援）分野の各機関ごとの特徴を学ぶ。精神病院、精神科クリニック、大学病院心療内科、総合病院心療内科、総合病院小児科発達障害専門機関、保健センター、知的障害者施設、母子支援施設、少年院、鑑別所、就労支援機関の心理実践実習と共に、実習記録を元にした事前事後指導を行う。
	臨床心理地域援助学実習Ⅲ（心理実践実習）	2	教育分野における心理実践実習と、教員による事前事後指導を行う。
	臨床心理地域援助学実習Ⅳ（心理実践実習）	2	保健／医療、福祉または産業分野いずれかの機関における心理実践実習と、教員による事前事後指導を行う。
	臨床心理事例研究演習Ⅰ	1	臨床事例を理解するための基本について、事例研究論文の抄読や、インテーク報告書および事例報告書を作成しながら体験的に学ぶ。
	臨床心理事例研究演習Ⅱ	1	個人または少人数での心理臨床スーパーヴィジョンや助言・指導等により、学生のケース理解を深め、心理療法のあり方等について十分な検討を行う。最終的にその成果を事例研究論文（レポート）として結実させる。
	総合的事例研究演習Ⅰ	2	大学附属心理教育相談センターにおける事例についての事例検討会を行う。検討にあたっては心理臨床に関する科目の学習経験の総力をあげて取り組む。心理臨床に関するあらゆる問題が取り上げられ、クライアントの状況だけでなく、カウンセラーのありよう、関係性の問題なども含めて具体的に討議される。ケースは病院、学校、他の相談機関からの紹介、直接申し込みなど多様である。したがってとりあげる問題も多領域にわたる。
	総合的事例研究演習Ⅱ	2	大学附属心理教育相談センターにおける事例についての事例検討会を行う。検討にあたっては心理臨床に関する科目の学習経験の総力をあげて取り組む。心理臨床に関するあらゆる問題が取り上げられ、クライアントの状況だけでなく、カウンセラーのありよう、関係性の問題なども含めて具体的に討議される。ケースは病院、学校、他の相談機関からの紹介、直接申し込みなど多様である。したがってとりあげる問題も多領域にわたる。総合的事例研究演習Ⅰでの学びをさらに深める。
	臨床心理関連行政論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	1	心理臨床業務を実践するために必要とされる関連諸機関の法律・行政的事項を学習し、各機関における心理臨床業務の機能と倫理的問題等について具体的に検討する。
選択科目（特修科目を含む）	認知心理学特論	1・2	本講義では、認知心理学および認知科学に関する学問体系を解説する。その上で、認知心理学や認知科学の研究手法やこれまでの知見の活用方法、特に日常生活における実践的な活用方法について重点的に学ぶ。認知心理学および認知科学の最新動向を踏まえて、日常生活における人間の行動原理を理解できるようになる。
	社会心理学特論	1・2	社会心理学は、自己や態度といった個人の内的な過程、友人関係や恋愛関係といった対人関係、さらには会社組織などの集団、大衆という社会を幅広く研究の対象としている。本講義では、個人・対人関係・集団〔組織・社会〕というさまざまな単位を取り上げ、幅広く社会に生きる人間の置く同心理を考える。自分とは何か、相手に自分の気持ちをどのように伝えることができるか、集団のなかで自分をどのように表現できるか、流行とは何か、文化を理解するにはどのような方法があるかといったテーマを取り上げながら、最新の研究から人間の社会的行動を理解してゆく。
	人格心理学特論	1・2	パーソナリティあるいは行動の理解・アセスメント、さらに心理療法をはじめとする心理援助的介入に関わる現象理解のあり方、考え方を学んでもらうことを目的としている。授業概要としては、Ⅰ．行動理解のパラダイム、Ⅱ．心理学、精神病理学におけるシステム論パラダイム、Ⅲ．関係モデルと心理的援助の3つのサブテーマのもとに、パーソナリティや行動の理解、心理的援助活動に関わる幾つかの基本的な見方、考え方について、文献の講読、事例紹介も含めながら、説明する。
	心理統計法特論	1・2	統計分析の基本となる記述統計から心理学研究で多用される多変量解析（回帰分析、因子分析など）を講義する。
	臨床精神医学（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	1・2	精神医療の現場において臨床心理士・公認心理師としての役割を十分に果たすことができるように、精神医学全体と各精神疾患およびその治療についての十分な知識と理解を得ることを目的とした体系的な講義である。 キーワード：精神医学、精神医療、精神疾患、向精神薬

臨床心理学専攻（専門職学位課程）

	授業科目名	配当年次	講義等の内容
選択科目（特修科目を含む）	生涯発達学特論	1・2	ライフ・サイクル論的な展望をもとに、乳児期から老年期にいたるまでのそれぞれの時期に特徴的な心理的課題と臨床的問題について検討する。認知的発達と情緒的発達の両面にわたって、現代の発達心理学の基本的な文献に触れ、現代的な問題を理論的に整理する一方、臨床場面で遭遇する問題を想定しつつ、ディスカッションも行う。認知発達については定型発達だけでなく、発達障害を中心とした近年の研究を取り上げる。情緒発達については、精神分析の潮流・アタッチメント理論等を中心に取り上げる。また、老年期の問題についても考察を行う。
	学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	1・2	この授業では、現代の社会状況を踏まえて、学校教育分野における、「いじめ」「不登校」「不適応」等の心理臨床的課題を取り上げ、その本質の理解と「見立て」や「チーム学校」として専門機関との連携や校内指導支援やその体制について、心理専門職としての活動を考える。
	犯罪心理臨床論	1・2	犯罪や非行に関心を持つ人は多いが、その心理支援のねらいや内容については、専門家の間でも正しく理解されているとはいえない現状がある。本授業では、犯罪・非行に関わる社会システムを概観するとともに、心理臨床理論における代表的な犯罪行動理解を取り上げることで、司法・犯罪分野における支援の心理的役割を理解し、犯罪心理臨床の意義と課題について考えていく。
	心身医学（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	1・2	小児科（小児心身症・小児神経）、児童精神科、内科（心療内科）、緩和ケア科において、公認心理師／臨床心理士に必要な医学的知識と共に、チーム医療における公認心理師／臨床心理士の役割を、臨床的・理論的に学ぶ。
	家族療法特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	1・2	家族（システム）療法の基礎を学ぶ。家族療法を踏まえた統合的アプローチについて学ぶ。個人・家族・コミュニティ等の関係性システムを踏まえた心理支援について考える。
	発達障害特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	1・2	さまざまな臨床場面において、心理職として発達障害児（者）に出会うことが増加している。この授業では、自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症、限局性学習症等の発達障害の各論について学びを深める。各現場で必要な専門的なアセスメント、心理学的支援の方法、発達障害に関する法律や制度を理解し、多職種と協働しながら実践的に活動する力を身につける。
	認知行動療法特論（心理支援に関する理論と実践）	1・2	公認心理師として必要とされる心理的支援、心理療法的アプローチ、多職種連携について学ぶ。行動理論、認知理論、認知行動療法の基礎を学ぶ。また、特定の精神疾患、発達障害に対するケースフォーミュレーション、認知行動療法によるアプローチを中心として実践を学ぶ。
	産業心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	1・2	心理臨床の専門家として必要な知識とスキルを修得するさきがけとして、次のような概要の授業を行います。 1 法令関連 2 職場ストレスの要因と予防 3 国策と組織における健康管理 4 ポジティブ心理学的アプローチ 5 ワークモチベーション
	健康心理学特論（心の健康教育に関する理論と実践）	1・2	健康をキーワードにした心理臨床的働きかけについて基礎から応用までを学びます。 1 健康の定義・意味・実態 2 健康に関する法令 3 ストレス関連事象 4 臨床との関連性 5 予防活動 6 ポジティブな視点を持った健康観
	臨床実践事例特修科目Ⅰ	1・2	ユング心理学を基盤として深層心理学的な臨床実践を学ぶ。具体的には①フロイトとユングを中心としたテキストリーディング、②インテークから終結までのさまざまな臨床実践の深層心理学的解説、③プレイフルなロールプレイを通じた臨床感覚の体験、この三つを柱にしたワークショップ的な授業を展開する。
	臨床実践事例特修科目Ⅱ	1・2	心理療法の個性的統合についての知的理解と、絵の登場人物とのミニ・カウンセリングや紙粘土と箱庭アイテムを用いた内界表現などを通じた体験学習、さらには事例研究も交えて、心理臨床の深みと高みに迫る。
	臨床実践技能特修科目Ⅰ	1・2	精神分析的な心理療法の実践について、事例研究論文やビデオなどを素材とし、各事例で生起している事象を考察する。事例研究論文を読んだり、ビデオを鑑賞したりした後、設定された課題についてグループ・ディスカッションを行い、各グループの代表者が集約した意見を発表し、最後は全体でのディスカッションを行いながら授業担当者が解説を行う。
	臨床実践技能特修科目Ⅱ	1・2	この授業では、イメージを用いた心理療法の進め方、セラピストとしての態度、事例のプロセスの見方などを習得することを目指す。具体的には、箱庭療法、描画療法、遊戯療法などを用いた実際の事例を素材とし、ディスカッションをしながら、事例のセッション1回ごとに詳細に検討していく。イメージは多義的で複数の解釈が可能だが、それらの象徴的な意味や、治療関係などについて、受講者の意見も尊重しながら考えていく。